

あとがき

本年は父、大平正芳が他界して満二十年になります。私事を申し上げて恐縮ですが、父の死以来そんなにも多くの歳月が経過したということが信じられないというのが、私ども家族の偽らぬ実感です。というのも、おそらくは、父が親しくおつきあいをいただいた皆様、父の歿後も絶えず私どもに励ましを掛けて下さったおかげと存じます。改めて厚く御礼申し上げます。

おかげ様で大平正芳記念財団も十五周年を迎えることができ、六月には「第十六回大平正芳記念賞」と「第十四回環太平洋学術研究助成賞」の授賞式を行う運びとなりました。これは、ひとえに皆様の変わらないご厚情の賜物であり、関係者一同深く感謝いたしております。

このような節目の年を迎えるにあたり、私ども家族並びに大平正芳記念財団といたしましては、一つの締めくくりとなるような記念の出版を行いたいと考えました。たまたま、父の秘書を務められた安田正治氏が、これまで公にされたことのない父の発言をまとめた

いと申され、財団関係者も協力して、この機に記念の出版物として、それを上梓することとし、一昨年の春から準備に取りかかりました。しかし、作業半ばにも達しないうちに、悲しいかな昨春、安田氏が急逝され、この計画は断念のやむなきにいたりました。

そこで、改めて想を練り直し、父が親しくしていただいた各界の方々に対する当時の第一線記者の方々によるインタビュ―集という形でまとめることといたしました。これまでに公にされたことのない父、大平正芳の発言を、という安田氏の遺志も、かなり生かされたものと思えます。

いま時は急速に流れています。単に父を追想し、過去を振り返るだけでは、回顧趣味のそしりを免れません。本書の取材・編集にあたっては、インタビュ―をお受けいただいた方々にも、インタビュ―を行う側の方々にも、できるだけ現在の人びとの関心に応えるようつとめていただきました。

また、残念ながらすでに物故された伊東正義、田中六助両先生、島桂次氏、安田正治氏のご発言も、重要と思われるものについては、この機会に本書に収録いたしました。

終わりに父の生前から長い間、ご厚情を賜りました池田満枝元総理夫人、鈴木善幸、中曾根康弘、宮澤喜一、橋本龍太郎各元総理をはじめ、インタビュ―に応じて下さった皆様
に厚く御礼申し上げます。

昨年五月に編集委員一〇氏による第一回編集会議を開催して、『大平正芳 政治的遺産』の論文スタイル、『在素知賢 大平正芳発言集』の語録集とも異なる読みやすいインタビュ

形式にすることに決定し、十一月四日の伊藤昌哉氏への取材を手始めに、二十二名の方々にお話をさせていただきました。お話をいただいた皆様方のご好意とご協力には感謝の言葉もありません。

また、阿部穆氏を始めとするインタビュ担当者のご熱意とご苦勞にも、心より感謝いたしております。なお、装幀・造本には、これまでの本と同様に花岡浩氏の協力を仰ぎ、編集事務には大平正芳記念財団事務局の大平剛、斎藤英夫、岡山いつきの各氏にあたっていただきました。

刊行にご協力を賜った関係の方々に対しまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

平成十二年六月

大平 裕
大平 明